

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈中・39〉 いわき市立田人 中学校
〈実施日〉	平成27年 12月末 各学年で
〈実践教科等〉	1 理科 (2) 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他()
〈実践内容〉	<p>各学年の学級活動の時間を利用して、福島県教育委員会が作成した、DVD「平成26年度放射線教育推進事業 放射線教育用 学習教材」の「中学校・高等学校用 放射線等についての学習資料」を視聴し、放射線への知識を深めた。</p>
〈成果〉	<ul style="list-style-type: none"> ・震災から5年が過ぎ、震災自体が徐々に風化しつつある中、DVDを通じて震災から原発事故が起こった時の大変な生活を思い出し、後世に残していく必要性を改めて感じる事ができた。 ・今まで知識のなかった放射線の「何も見えない 聞こえない におわない 味が無い 感じない」という特徴とともに、放射線の種類を知ることができた。 ・原発事故により放射線が出たように誤解をしていたが、もともと自然界からも自然放射線が出ていたことを知ることができた。 ・測定器を用いて自分の身の回りの放射線の状況をしっかりと把握しておく必要があることを理解することができた。
〈課題〉	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の研修や専門家の講話などの必要性を感じた。 ・理科や社会など各教科との関連性を深めていきたい。
資料作成担当者職(教諭) 氏名(河野 達徳)	学校電話番号 (69-2024)